

# 会議

1. 臆せずに質問するには敬語に気を使わなくていい英語のほうが楽です。
2. 本音を言うのが大事なので、会議で建前を言うのは禁止します。
3. 英語では上下関係を意識せずに議論できるので、英語は会議に向いた言語です。

英語の利点は相手の年齢に関わらず同じ表現が使える事なので、特に「会議」つまり「ミーティング」でその利点が生きてきます。偉い人が一方的にしゃべって皆は聞き役に徹するという会議もあれば、いろいろなアイデアを各人が出し合って新しい方向を決めるブレイン・ストーミングという会議もあります。一方的な会議でも最後に質疑応答の時間があれば質問ができます。臆せずに質問するには敬語に気を使わなくていい英語のほうが楽です。

人が話している間に疑問点やアイデアが浮かびます。これをタイミングよく頭から出力するには話す練習が必要です。頭の中で和文英訳を doing は間に合いません。ちなみに人は考えるときに頭の中で言葉は使いません。考えた結果を頭から外に出す時に始めて言葉を使います。これを発話といいます。いくつも表現の引き出しを持っていれば自分の考えを直ちに話すことができます。日本語と同じく以前に聞いた事や読んだ事が引き出しの中で自分の財産になります。IT用語で言うと連想記憶とか associative array です。このマッピング・テーブルが自分の言いたい事を英語や日本語の表現に変換してくれます。